

平成29年度病床機能報告結果(速報値)

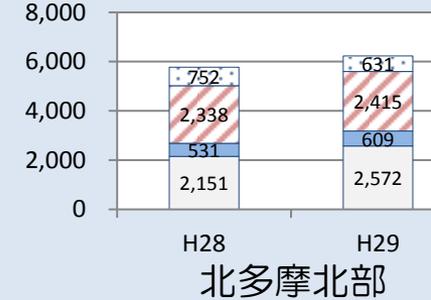
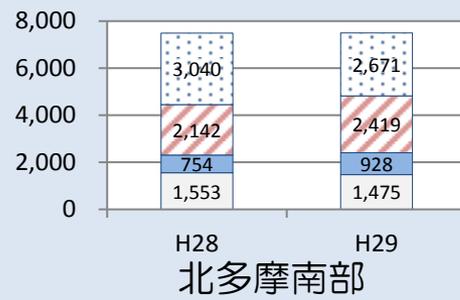
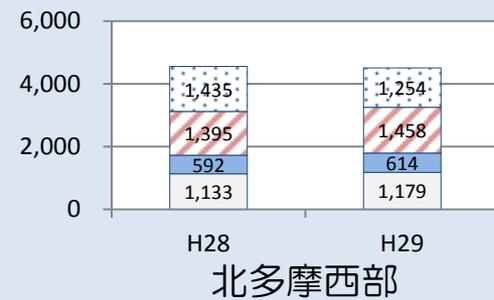
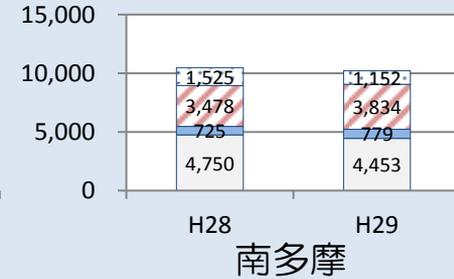
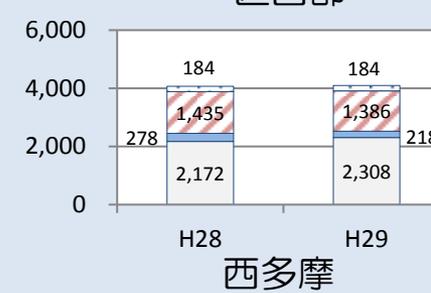
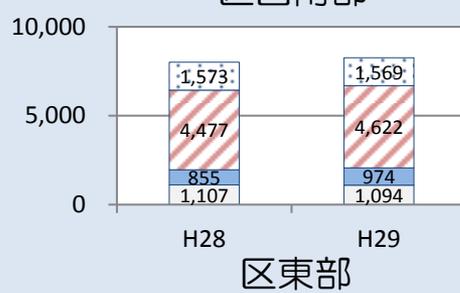
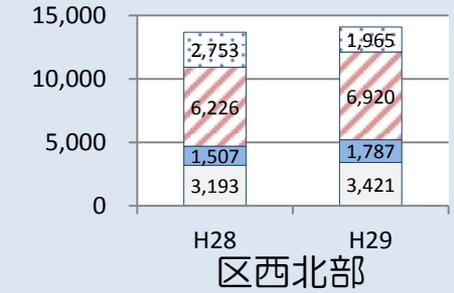
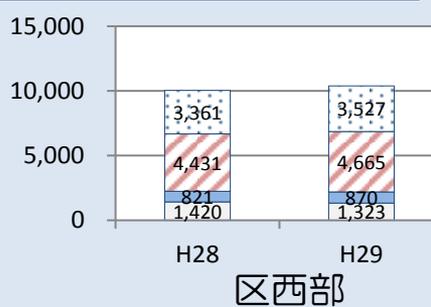
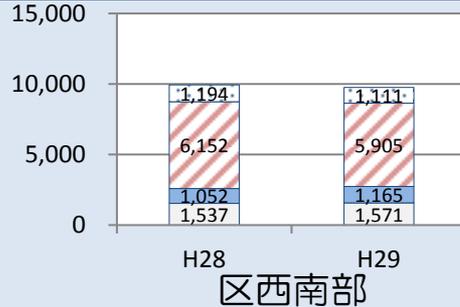
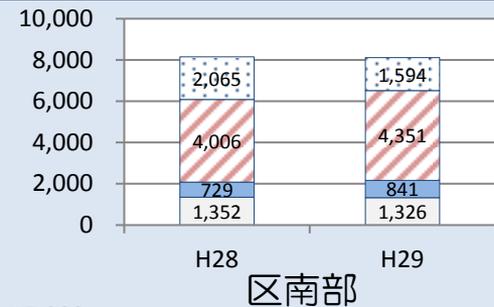
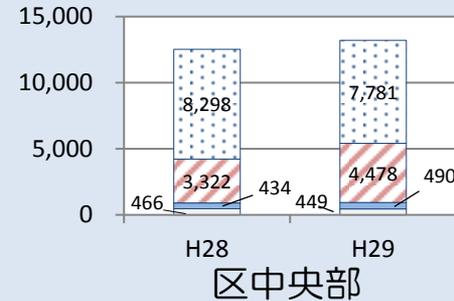
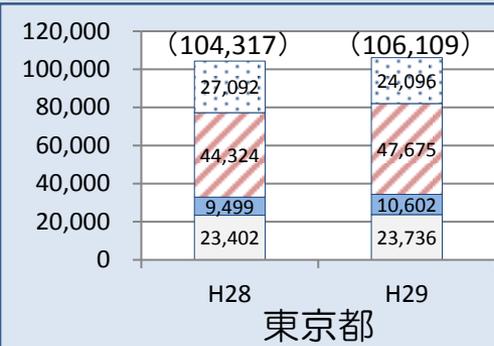
H28-29比較 <4機能別許可病床数>

凡例 □高度急性期 □急性期
 ■回復期 □慢性期

<結果の概要(東京都)>

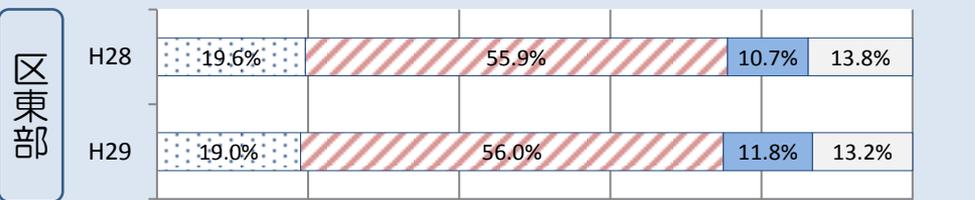
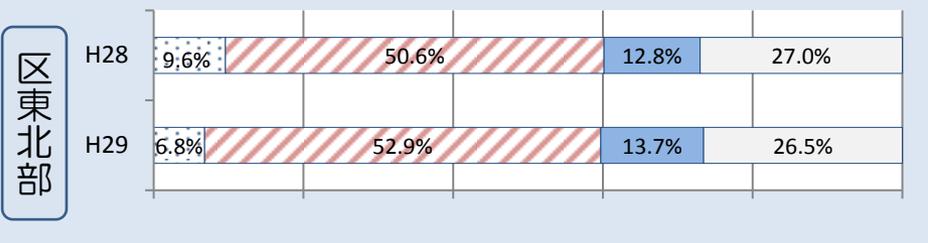
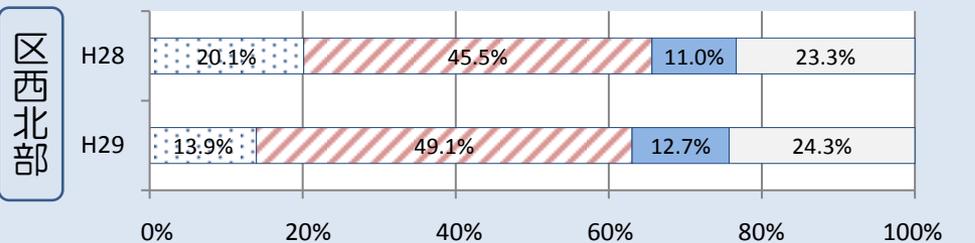
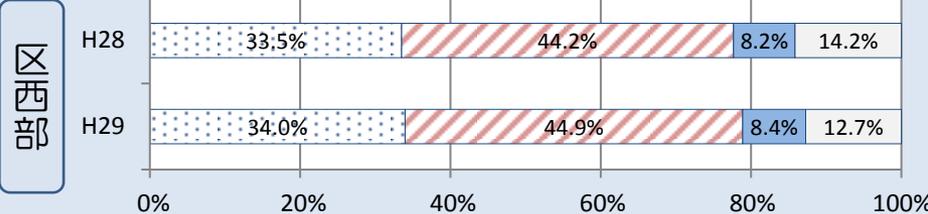
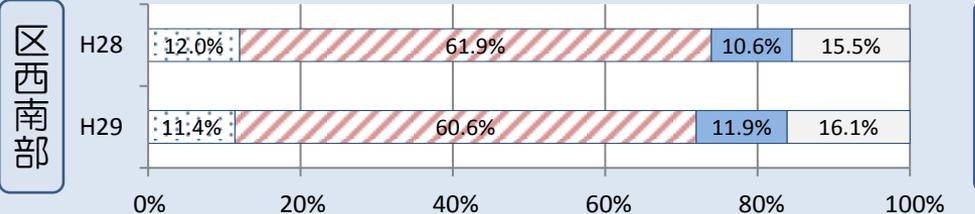
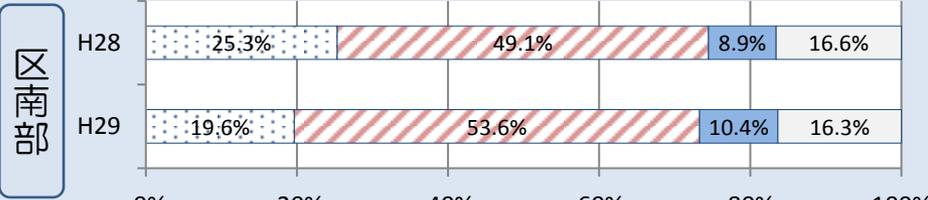
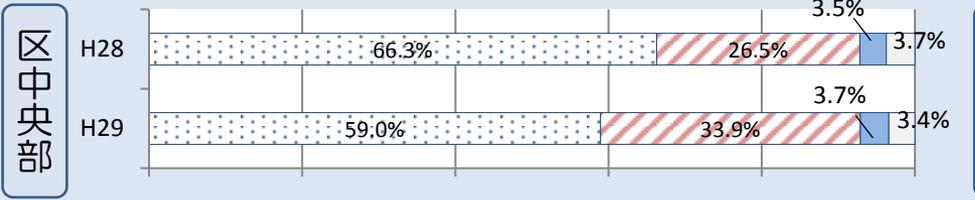
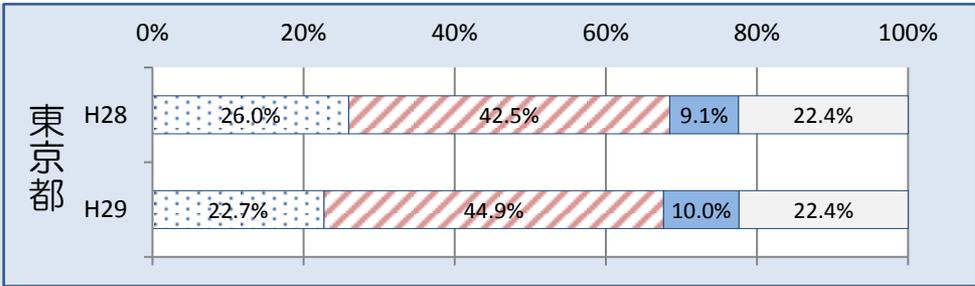
○平成28年度結果に比べ、病床数全体は、1,792床増

(機能別増減) 高度急性期機能 2,996床減
 急性期機能 3,351床増
 回復期機能 1,103床増
 慢性期機能 334床増



平成29年度病床機能報告結果(速報値)

H29-28比較 <4機能別許可病床数の割合/区部>

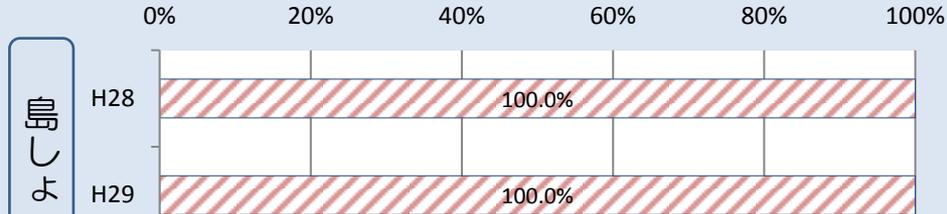
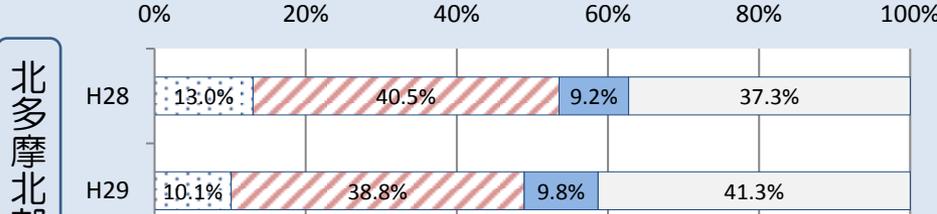
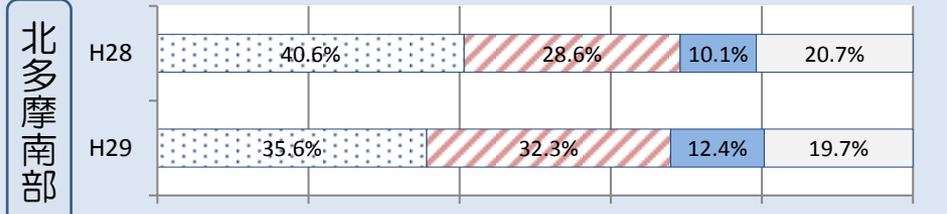
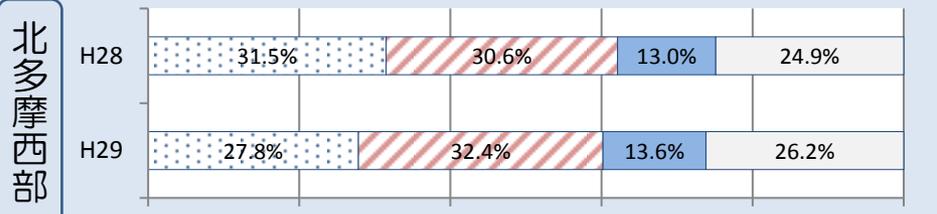
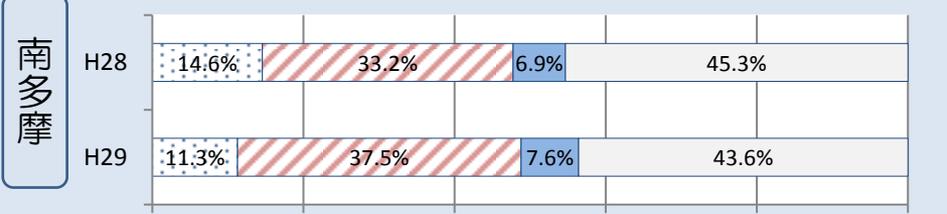
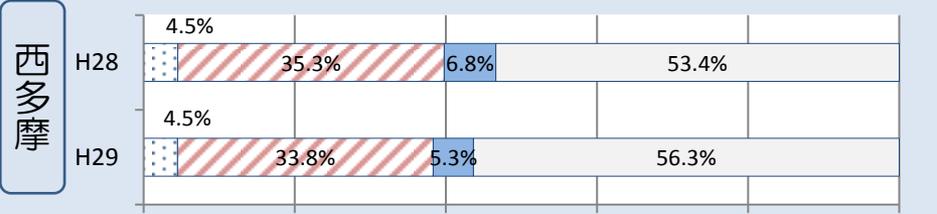


凡例

- 高度急性期
- 急性期
- 回復期
- 慢性期

平成29年度病床機能報告結果(速報値)

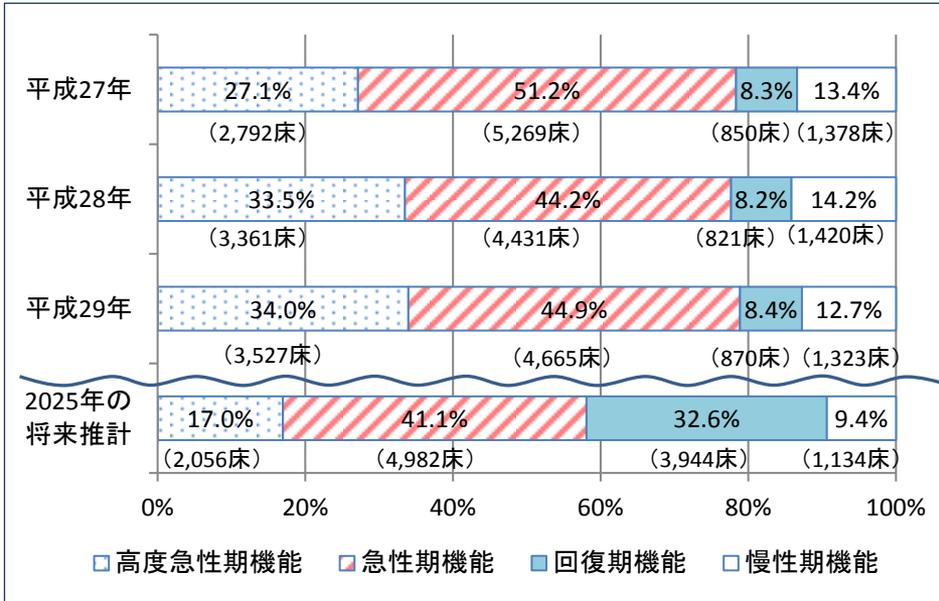
H29-28比較 <4機能別許可病床数の割合／多摩・島しょ>



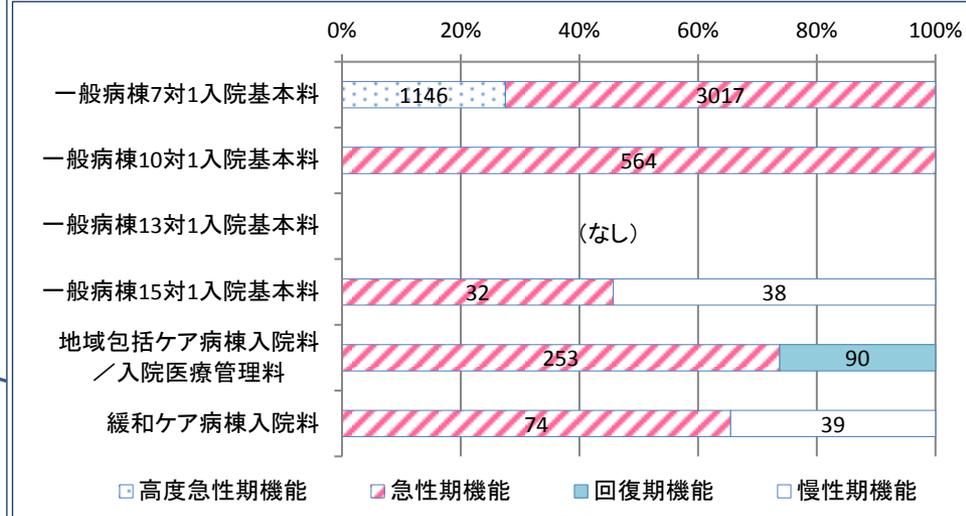
凡例

- 高度急性期 (dotted pattern)
- 急性期 (diagonal stripes)
- 回復期 (solid blue)
- 慢性期 (solid grey)

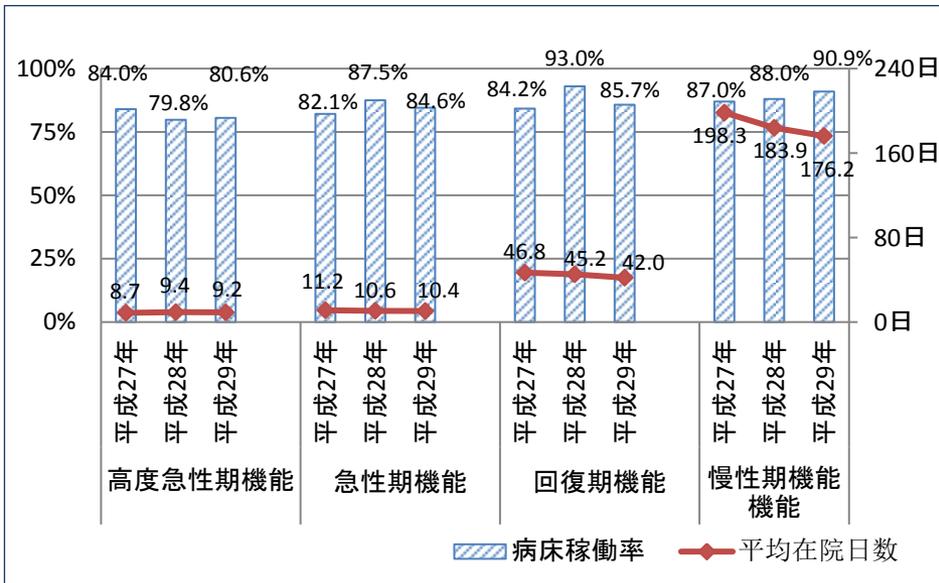
①4機能別病床数の推移(平成27年度～平成29年度)



③入院料×機能



②病床稼働率と平均在院日数の推移(平成27年度～平成29年度)



④退院後1ヶ月以内に在宅医療を必要とする患者の割合

	在宅医療を必要としない患者(死亡退院を含む)	自院が在宅医療を提供する予定の患者	他施設が在宅医療を提供する予定の患者	在宅医療の実施予定が不明の患者
高度急性期機能	6,622 96.6%	54 0.8%	117 1.7%	60 0.9%
急性期機能	6,782 75.7%	546 6.1%	290 3.2%	1,344 15.0%
回復期機能	218 57.2%	31 8.1%	75 19.7%	57 15.0%
慢性期機能	121 85.8%	6 4.3%	10 7.1%	4 2.8%

⑤退院調整部門を置いている病院の割合 73.2%(前年度62.8%)

- 慢性期機能と報告した割合のみ減少
- 慢性期機能では3年続けて在院日数が短くなり病床稼働率が上昇
急性期・回復期機能では在院日数が短縮したが、病床稼働率は低下
- 地域包括ケア病棟・緩和ケア病棟で、急性期機能での報告割合が高い。
- 回復期機能で、退院後に他施設で在宅医療を提供する患者が多い。
慢性期機能で、在宅医療が不要という割合が高い。
- 退院調整部門の設置割合が大幅に上昇